

(5) 展開

【展開の例】 <小学校 知的障害特別支援学級 国語科>

○展開については「特別支援学級及び通級による指導 教育課程編成の手引」（平成 31(2019)年 2月 栃木県教育委員会）を参考にし、記入すること。

○学習活動（太字）は、児童（生徒）の立場で記述する。

○指導上の留意点等には、個別の支援の手立てを具体的に記入する。

○参観者は、発達障害のある児童生徒に刺激を与えないなど授業参観の配慮が必要である。

◎学校課題との関連 ○人権教育上の配慮

学習活動	時間	指導上の留意点等			資料・準備物等
		A児	B児	C児	
<p>1 前時の学習活動を振り返り、本時のねらい及び学習の流れを確認する。</p> <p>まよい猫を見つけるために、話をよく聞いてメモを取ろう。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> クイズ形式により、前時に学習した記録の取り方を確認させる。 本時における個別目標を確認する。 猫の体の各部と特徴を結び付けてメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取った猫の特徴についてメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○TTの場合は、役割(T1・T2等)を明確にして記述することも必要である。 猫の特徴について必要な内容を自ら考えてメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> メモの取り方の見本 教科書挿絵の拡大図 振り返りシート
<p>2 話を聞いてまよい猫を見つける。</p> <p>①話を聞きながら記録する。 ②条件に合う猫を見つける。 ③条件に合っている猫か確認する。</p>	27	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に示すことにより自分で気付けるよう、猫のイラストの各部位に吹き出しを付けたワークシートにする。 平仮名の50音表を机上に用意し必要に応じて確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> メモする内容を漏らさないよう体の各部位名（説明と関係ない部位を含む）が記入されたワークシートにする。 再び説明を依頼するときの文と一緒に考え、文例を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 縦罫線のワークシートを用いて必要な事項についてメモが取れるよう書き方の見本を示す。 説明を始める前に集中して話を聞く準備ができていないか確認できている場合には賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 依頼する文の例文 猫のイラスト
<p>3 本時のまとめと振り返りを行う。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> 全体で猫の特徴を確認しながら、条件に合う猫を見つけられるようにする。 個別目標の達成状況を振り返る。 			

○授業のはじめには、1時間の学習内容・学習活動の見通しをもたせる。
○発達の段階に応じて分かりやすい言葉で示す。
○**児童生徒それぞれが「何が」、「どのように」、「どのくらい」できればよいのかを分かるように示す。**
○示す方法やタイミングについても工夫する。

○学習内容を整理する。
○振り返り、自己評価をする。
○次時への見通しや意欲につなげる。

○**児童（生徒）のつまずきを予想して支援の手立てを具体的に記述する。**
○学習の方法、手順に基づき、主体的に学習に取り組むことができるようにする。
○「声をかける」「励ます」といった支援のほか、児童生徒一人一人の実態を踏まえ、よさに目を向け、苦手な面を補える支援内容を記述する。
○個別の教育支援計画に記載してある合理的配慮の内容を反映させる。

※指導上の留意点等には、個別の学習活動を入れることもある。